



社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.778 2011年3月22日

ARIBの動き

特定周波数変更対策業務の廃止が総務大臣から許可される

当会では、2001年8月に、電波法第71条の3の規定に基づき特定周波数変更対策業務（アナログ周波数変更対策業務）を行う指定周波数変更対策機関として総務大臣指定を受けて以来約10年間にわたり、地上デジタルテレビジョン放送局が使用する周波数を確保するための当該対策業務を行ってきました。

このアナログ周波数変更対策業務は、所期の目的を達成したことから2010年度末をもって廃止することとし、2011年2月28日付けで電波法の規定に基づく総務大臣への廃止許可申請をしていたところ、総務大臣から2011年3月31日をもって廃止する旨の許可書が交付されました。

これにより、今後は同法に基づき総務大臣に業務の引継ぎを行い、当会の周波数変更対策業務は終了することとなります。

ARIBからのお知らせ

国際競争力強化のための標準化戦略に関するパネル討論 ～ 日本を元気にする国際競争力強化戦略 ～ 開催のお知らせ

スポーツの世界と同じように、グローバルビジネスにおいても新ルールを策定して実行していくことは大きな意味を持ちます。不況を挽回し、日本のICT産業／ICT分野が国際競争力を強化するためには、研究開発と知財マネジメントと国際標準化の三者を統率して戦略を策定し、新旧のビジネスモデルや国際的ルールを創造して駆使する新しい企業経営を打ち立てていかなければなりません。特に、ICT分野のグローバルビジネスは急速に大きく変革しているため、欧・米・中韓等アジア諸国・その他の人口大国のそれぞれに対する、新しい日本の攻め方／共生の仕方については、早急に検討して実行に移していかなければなりません。

ICT標準化・知財センター[※]では、下記のとおりパネル討論会を開催する予定です。

パネル討論会では、グローバルビジネスの世界で日本のICT産業が欧米に敗れた現実を踏まえ、ICT分野においてグローバル市場をリードしていくために不可欠である国際標準化戦略に関するパネル討論会を通じて、ICT産業における国際標準化を強力に推進するための意識の共有化を図ります。

記

- 1 日時 : 平成 23 年 3 月 31 日(木) 17:30 ~ 20:30
- 2 開催場所 : メルパルク東京 (<http://www.mielparque.jp/tky/tky01.html>)
〒105-8582 東京都港区芝公園 2-5-20
- 3 プログラム (<http://www.isipc.org/info/info20110331s/>) :

【第 1 部】 パネル討論 (17:30 ~ 19:30)

- (1) 開会 総合司会 : 真咲なおこ (ビデオジャーナリスト)
- (2) 主催者挨拶 : ICT 標準化・知財センター長 前田 洋一
- (3) パネル討論
テーマ: 「国際競争力強化のための標準化戦略はどうあるべきか」
コーディネーター : 安田 浩 (東京電機大学)
パネリスト : 内海 善雄 (前 I T U 事務総局長)
江崎 浩 (東京大学)
大久保 榮 (早稲田大学)
村野 和雄 (富士通研究所)
- (4) 質疑応答
- (5) 閉会

【第 2 部】 懇親会 (19:30 ~ 20:30) 1 時間程度

- 4 参加費 : 無料 (ただし、第 2 部の懇親会は 2,000 円/人)
- 5 定員 : 70 名程度
- 6 申し込み方法 : (事前登録制) 下記 URL から事前の参加登録をお願いいたします。
※会場定員に達し次第、受付を締切らせていただきます。
<http://www.isipc.org/cgi/form20110331s/formmail.cgi>

その他 : パネル討論会に関するお問い合わせ先

ICT標準化・知財センター事務局 (<http://www.isipc.org/index.htm>)
Tel : 03-5776-5083

※ 「ICT 標準化・知財センター」は、ICT 分野の国際競争力を強化することを目標に、我が国における国際標準化・知財に関する様々な取り組みを統括する拠点として、ICT (情報通信技術) 分野の標準化に関連する国内の当会を含む 8 つの機関により設立されました。

総務省からのお知らせ

周波数オークションの導入に関する提案の募集

【平成 23 年 3 月 11 日の総務省報道資料から】

総務省では、周波数オークションの我が国での導入に関して検討を行うため、「周波数オークションに関する懇談会」(座長:三友 仁志 早稲田大学国際大学院アジア太平洋研究科教授)を開催しています。

今般、同懇談会での検討に資するため、周波数オークションを導入する際に検討すべき論点について、平成 23 年 3 月 12 日(土)から同年 4 月 8 日(金)までの間、広く提案を募集します。

1 趣旨

総務省は、平成 23 年 3 月 2 日(水)から「周波数オークションに関する懇談会」(以下「懇談会」)を開催し、周波数オークションの我が国での導入に関して検討を始めました。

今般、懇談会での今後の検討に資するため、周波数オークションを導入する際に検討すべき論点について提案を募集します。

2 提案募集について

(1) 募集対象

以下について、提案をお寄せください。

ア 周波数オークションを導入する際に検討すべき論点として、[別紙1](#)に掲げる事項に追加すべきもの（[別紙1](#)に掲げる事項の修正を含む。）

イ [別紙1](#)に掲げる論点又は上記アにより提案を行った論点に対する考え方

(2) 提出期限

平成 23 年 4 月 8 日(金) 17 時（必着）

詳細については、下記別紙 2 の募集要領をご覧ください。

[別紙 2「募集要領」\(WORDファイル版\)](#)

[別紙 2「募集要領」\(PDFファイル版\)](#)

なお、本提案募集については、総務省ホームページ (<http://www.soumu.go.jp>) の「報道発表」欄及び電子政府の総合窓口 [e-Gov] (<http://www.e-gov.go.jp>) の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、連絡先窓口において配布します。

3 留意事項

(1) 提案の取扱い

提出された提案は、懇談会における検討の参考とさせていただきます。提案内容については、募集期間終了後、取りまとめて公表する予定です。その際、提出された方の氏名及び所属（法人等にあつてはその名称）に関する情報についても併せて公表します。これらの公表に不都合がある場合は事務局まで御連絡ください。

なお、提案に対する個別の回答は致しかねますので御了承ください。

(2) 提案内容の聴取

懇談会において、提出された提案内容の詳細を把握するため、提案者から説明していただくようお願いすることがあります。説明をお願いする場合は、事務局より提案者に事前に御連絡いたしますので、あらかじめ御了承ください。なお、懇談会の聴取に参加されるに当たり発生する交通費等は支給されません。

4 提案の提出先

周波数オークションに関する懇談会事務局

（総務省総合通信基盤局 電波部 電波政策課）

担当：藤波補佐、平松周波数調整官、松田専門職、瀬田第一計画係長

電話：03-5253-5875（直通）

FAX：03-5253-5940

E-mail：auction_kento_atmark_ml.soumu.go.jp

（※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。）

業務委員会 委員長代理 藤咲 友宏
(KDDI 株式会社 技術統括本部 電波部長)



かつてパソコンの普及が始まった時期に、パソコン通信というものがありませんでした。当初は音響カプラで繋いだりして、伝送速度が非常に低いものでした。また、その頃のパソコンは CPU の処理速度も遅く、メモリも高価でした。これらのリソースの不足を上手に補いながら使うのが、上級者と言われていました。

ICT (情報通信) の利用は、それぞれの時代のボトルネックの部分の使い方が全体の使い方を左右 (支配) してきた、とも言えるのではないかと思います。

ご承知のとおり、現在ではパソコンの処理速度はさらに高速化を続け、メモリは驚くほど安くなっています。携帯電話・パソコン・テレビ・カメラの間のコンテンツのやり取りが容易になりつつあるばかりか、これらの機器の間の境目自体が曖昧になってきています。国内の移动通信の契約数は、1 億 1,800 万を超えようとしています。LTE のサービスは各国で開始され、IMT-Advanced (第 4 世代移动通信システム) も標準化が進み、実用化のスケジュールが議論されるようになりました。技術開発や標準化の分野の諸先輩方のご努力の成果を享受していることとなります。

現在は何がボトルネックかと、コンテンツ (放送) の分野の方にお聞きすると、コンテンツだとお答えになるのではないのでしょうか。スポーツ中継や映画の放送権料が高騰しているようです。また、移動機に不可欠な電池の容量・重量・寿命も設計上の大きなポイントになっているようです。しかしこれらのネックも徐々に解消される方向に向かっていくのではないかと思います。

そうすると次に表面化するボトルネックは何でしょうか? 私達の生活や仕事のスタイルということなのかも知れません。

編集後記

このたびの東北地方太平洋沖地震にて被災された皆様、関係の皆様に、心からお見舞い申し上げますと共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

今回の地震においても大きな被害は無かった日本のシンボルである東京タワーとスカイツリー (2012 年春開業予定)。これらをモチーフとした特殊切手 (下記 URL 参照) が地デジ完全移行を記念して、4 月 15 日 (金) に発行されます。私には切手収集の趣味はありませんが、デザインがとても気に入ったので、使用を目的に購入しておこうと思います。

(http://www.post.japanpost.jp/kitte_hagaki/stamp/tokusyu/2011/h230415-2_t.html) (S.K)

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp